２０２１年度　　足立区　保育研修報告　　VOL. ９

幼児教育研修（年齢別担任：３歳）　　受講者数８４名

日時　令和３年６月１８日（金）　１５：００～１７：００
場所　足立区生涯学習センター
講師　東京都立大学　人文社会学部人間社会学科　　准教授　　田中　浩司氏

【内　容】～３歳児の遊びの世界を知る～

遊びたがりの３歳児の自我を大切にするためには、「意欲を引き出す言葉かけ」や「子どもがルールを発見できる言葉かけ」等保育者の前向きな言葉かけが大切です。

子どもが何におもしろがっているのかをよく見て、そこからどのような援助や環境が適しているか、保育者の関わりによって子どもたちがどう育っていくかを学びます。

講師　田中　浩司氏

【受講者の感想】

＊　研修で学んだことを保育にどう活かしていきますか

・子どもが何を面白がっているのかをよく見ることが大切で、学びのための遊びではなく面白がって遊んだ結果に学びがあるのだということを理解した。クラスの子どもたちへの環境設定につなげていきたい。
・子ども同士の何気ない時間も子どもが持つイメージの世界を広げていく大切な時間であるということを学んだ。職員間でそのことを共通認識して子どもの主体性を育んでいけるようにしたい。
・興味が広がり「なんで？」と聞いてきた言葉にはしっかりと受け止めて返していくことが大切であることを学んだ。保護者にも分かりやすく伝え、園と家庭で協力しながら子どもを育んでいきたい。
・先生が仰っていた「〇〇しなくちゃ」「次は〇〇しないといけない」という保育者のこだわりは必要ないのだと理解した。子どもの目線になって、もっと一緒に面白さを共有し楽しんでいきたい。
・時間をしっかり区切って活動を進めるのではなく、子どもの発見や考えをキャッチできるよう見守ることが大切だと学んだ。遊びを途中で終わらせてしまうことのないように気をつけていきたい。

＊　ご意見・ご感想

・３歳児の発達とともに少し先の姿も話してくださり、保育者の働きかけの具体的な内容や今大切にしなければいけないことが見える研修でした。
・子どもたちが大きくなったことを感じられるよう子どもの意見を待ち、子ども自身ができるようにさりげなく援助をし、努力した過程を褒めていこうと思いました。

２０２１年度　　足立区　保育研修報告　　VOL.４６

幼児教育研修（年齢別担任研修３歳児　第２回）　　受講者数７３名

日時　令和３年１１月１６日（金）　１５：００～１７：００

場所　竹ノ塚地域学習センター

講師　東京都立大学　人文社会学部人間社会学科　准教授　田中　浩司氏

【内　容】

～３歳児の遊びの世界を知る～

３歳児は仲間関係を作るため、他者を排除する姿がある。保育者はみんなで仲良くすることを前提とした言葉かけをするのではなく、自分たちの世界を作りたいという気持ちを受け止めることが大切である。事例をもとに子ども理解を深め、適切な援助について学ぶ。

【受講者の感想】

＊　**研修で学んだことを保育にどう活かしていきますか**

・遊びのイメージを友だちにうまく伝えられない場面があった時に、保育者が間に入って伝えようとしていたが、それぞれの子どもがもつイメージを自由に主張し、統一されていなくても場を共有する楽しさがあるのだと分かった。今後は遊びに入りすぎずにもっと見守ることも大切にしていきたい。

・「いれて」「ダメよ」のやりとりは、ただの意地悪ではなく自分たちの世界を作っているのかもしれないということが分かった。子どもの気持ちを理解し、その場にあった言葉掛けをしたり気持ちに寄り添っていくことが大切であると学んだ。

・仲間関係を作ることは、他者を排除することであるという講話が印象的であった。

・危険だと感じるとすぐに「危ないよ」「怪我するよ」と声を掛けてしまうことが多かった。視野を広くもち、その時の子どもの姿を見守り、なぜ今この行動や発言をしているのかを考えながら保育をしていきたい。

・約束事を守ることは大切であるが、試して失敗するという経験をすることも大切であると学んだ。約束を破ろうと思い行動しているというより、何か楽しいことをしたいというイメージを強くもち、行動しているのかもしれないという、子どもの気持ちを受け止めることが必要であると分かった。

＊　**ご意見・ご感想**

・他園の保育の様子を見る機会がなかったため、動画を見ながらの研修は分かりやすかった。

・動画の事例についての説明があり、自分たちの意見を出し合う場もあったことで、自分が今まで気付けなかった保育の方法を知ることができて良かった。

・コロナウィルスが落ち着いたら少人数グループで保育について語り合いたい。

２０２１年度　　足立区　保育研修報告　　VOL. ６８

幼児教育研修（年齢別担任研修３歳児　第３回）　　受講者数６２名

日時　令和４年１月１７日（月）　１５：００～１７：００

場所　竹ノ塚地域学習センター

講師　東京都立大学　人文社会学部人間社会学科　　准教授　　田中　浩司氏

【内　容】

～３歳児の遊びの世界を知る～

乳児期の追いかけっこがごっこ遊びに繋がっていくことや､3 歳児の子どもたちにルールあそびを取り入れていく時の保育者の配慮など、３歳児の発達を踏まえながら理解を深める。

講師　田中　浩司氏

【受講者の感想】

＊　**研修で学んだことを保育にどう活かしていきますか**

・ルールのある遊びでは、保育者が流れを作ることの大切さを学んだ。言葉で説明しても分かりづらいので、まずはやってみること、大人が一緒に遊びつつモデルをそっと見せることが大切だと感じた。

・乳児期からの追いかけっこを通しての成長について、年齢別に知り、発達段階について学んだ。

・３歳児は１つの遊びであっても楽しみ方がそれぞれ違う。参加することを楽しむ子もいれば、参加には一歩踏み出せないが、見ることで楽しんでいる子もいる。参加を目的とするのではなく、遊び方の多様性を受け止めていくことが大切だと学んだ（多数あり）。

・注意の言葉よりも子どもの発想を言葉で具体化して伝えてあげることが大切だと学んだ。ルールばかりに保育者がこだわりすぎず、子どもたちからの発想を大切にしていきたい。

・いつも全体を見ることに気を配り、スムーズに遊びが流れるよう配慮していたが、保育者の姿が遊びのルールの理解につながるということを学ぶことができた。これからは子どもの中で一緒に遊びを楽しみたい。

・追いかけっこでは逃げる方が発達的にすぐ楽しめる動き・遊びであること、追いかける方が相手をよく見て集中するので、集中力が必要であることを知り、３歳児の追いかけっこの具体的な理解につながった。

＊　**ご意見・ご感想**

・園の規模や設備などには関係なく、３歳児の保育をする中で悩む内容について取り上げられていたため、とても分かりやすかった。

・様々な場面や内容の話になっていたが、どれも抽象的でなく、分かりやすかった。

・講師の話の進め方など、引き込まれるように聞けて楽しかった。